

軽米病院が求める看護師像は、①看護サービス看護実践能力②マネジメント能力③人間関係能力④教育・研究能力を身につけることを基本としています。各レベルに応じて、到達目標・行動目標を明確にしキャリアアップを目指した研修内容を企画しています。

区分	項目/対象目安	到達目標	行動目標	研修内容	研修方法	評価
	オリエンテーション (新採用者・転入者)		① 看護科の概要を理解する ② 職場に適應できる	① 看護科理念・基本方針・重点取り組み事項 ② 看護科運営組織体制・会議及び委員会 ③ 看護科業務基準・看護倫理 ④ 教育理念・キャリア開発プログラム ⑤ 勤務者としての心構え・接遇・就業規則について ⑥ 看護科自治会 他	1. 講義(4月)	
キャリア別	レベルⅠ (新人～卒後2年)	担当看護師としての能力を身につける	① 助言を得てケアの受けての状況(場)のニーズをとらえる ② 助言を得ながら、安全な看護を実施する ③ 関係者と情報共有ができる ④ ケアの受け手や周囲の意向を知る ⑤ 社会人・組織人としての自覚を持ち、看護職者として責任ある行動ができる ⑥ 看護に必要な知識について、主体的に学習できる	1. 圏域技術研修 ① 医療安全、感染防止、採血・静脈注射の技術 ② 褥瘡・創傷管理スキニングに関する技術 ③ バイタルサインのアセスメント、呼吸管理に関する技術 2. 院内研修 ① 基本的看護技術の習得 新人看護技術到達チェックリストの活用 ② 夜勤業務について(多重課題含む) ③ 救急時の対応について ④ メンタルヘルスについて ⑤ 担当看護師の役割について ⑥ 看護計画につながる情報収集と初期看護計画立案の実際 3. 他部署研修 ① 他病棟・救急外来の現地研修 4. 1年間の振り返りレポート	1. 圏域研修(4月6月11月) 2. 各部署での研修 ① 講義 ② OJT ③ 1回/月 育成会議 ④ リフレッシュ研修 (6月11月2月) 3. 他部署での研修 4. 発表会	新人到達目標評価表 臨床看護実践能力評価表 レポートの発表
	新人パートナー (レベルⅡ終了以上)	パートナーの意義と役割を理解する 新人看護師が職場に適應できるよう支援する	① 看護実践者としての役割モデルになる ② 相談役として精神的サポートができる	1. 新人研修プログラムの理解 ① 新人パートナーの目的、目標、役割、支援体制について 2. パートナーの支援者によるサポート 3. レポート「新人パートナーとしての関わりから学んだこと」	1. ①講義(3月) ②1回/月 育成会議 ③リフレッシュ研修 (7月12月2月) 2. 発表会	新人パートナー評価表 レポートの発表
	レベルⅡ (卒後2～5年)	担当看護師として自立し受け持ち看護師を目指す	① ケアの受けてや状況(場)のニーズを自らとらえる ② ケアの受け手や状況(場)に応じた看護実践をする ③ 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる ④ ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる ⑤ 担当看護師としての役割発揮ができる ⑥ チームの目標達成のためにメンバーとしての役割を遂行できる ⑦ 自己学習課題を明確にして取り組むことができる	1. ケースレポート ① 導入講義「ケースレポートの書き方」 ② ケースレポート発表	1. ① 講義 ② 地域施設研修 ③ 1回/月のフォロー ③ 発表会	臨床看護実践能力評価表 受け持ち看護師評価表 ケースレポート発表
	レベルⅢ (卒後4～10年)	受け持ち看護師として自立し役割モデルを目指す	① ケアの受けてや状況(場)のニーズを自らとらえる ② ケアの受け手や状況(場)に応じた看護実践をする ③ ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる ④ ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる ⑤ 受け持ち看護師としての役割ができる ⑥ チームリーダーとしての役割ができる ⑦ 後輩や学生に根拠に基づいた指導ができる	1. 受け持ち看護師としての役割発揮 ① 受け持ち患者の看護過程の展開(看護理論の活用) ② 施設研修での研修 2. 看護研究計画書作成への取り組み ① 看護研究について学ぶ ② 看護研究計画書の作成 ③ 看護研究計画書の発表 * 翌年度は、研究へ取り組む	1. ① 講義 ② 地域施設研修 ③ 看護実践 ④ 実践報告会 2. ① 講義 ② 1回/月のフォロー ③ 発表会	臨床看護実践能力評価表 受け持ち看護師評価表 受け持ち患者への看護実践 発表 看護研究計画書の発表

キャリア別	レベルⅣ (卒後7～15年)	部署において看護の立場でリーダーシップを発揮できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえられる</li> <li>② 様々な技術を選択・応用し看護を実践する</li> <li>③ ケアの受け手を取り巻く多職種力を調整し連携できる</li> <li>④ ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき選択を尊重できる</li> <li>⑤ 看護単位の課題解決や看護に質向上のための取組みにおいてリーダーシップを発揮できる</li> <li>⑥ メンバー・学生に教育的関りができる</li> </ul>	1. 各部署の課題を明確にしリーダーシップを発揮し課題解決に向けて取り組む ① 各看護現場の現状分析 ② 実践計画書の作成 ③ 実践報告	1. ① 実践計画書作成 ② 実践 ③ 実践報告会	臨床看護実践能力評価表 受け持ち看護師評価表 実践報告の発表 看護研究の発表
	レベルⅤ (卒後12年以上)	医療チームにおいて看護の立場でリーダーシップを発揮できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえニーズをとらえる</li> <li>② 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する</li> <li>③ ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、他種他種の力を引き出し連携に活かす</li> <li>④ 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる</li> <li>⑤ 組織の安全文化を培い向上させる役割ができる</li> <li>⑥ 看護の質保証に向け管理的思考と行動ができる</li> </ul>	1. 看護の立場でリーダーシップを発揮し他部門との協働による取り組みを行う ① 現状分析 ② 実践計画書の作成 ③ 実践報告	1. ① 実践計画書作成 ② 実践報告会	臨床看護実践能力評価表 受け持ち看護師評価表 実践報告の発表
専門研修	看護研究	看護研究に取り組み実践発表ができる		1. 看護研究への取組み ① 看護研究計画書の作成・発表 ② 看護研究への取組み ③ 看護研究発表	1. ① 講義 ② 1回/月フォロー ③ 発表会	看護研究の発表
管理研修	主任看護師	必要時支援を受け、看護管理を実践できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護単位の運営方針を基に支援を受けながら管理する</li> <li>② 質の高い看護サービスを提供できるよう管理する</li> <li>③ スタッフ個々のキャリア発達を支援する</li> </ul>	1. 自身の看護を振り返ることで役割を再認識し、看護サービス向上のための取り組みを行う ① ナラティブ(1事例) ② ナラティブシートの提出 ③②を用いてのディスカッション ④ 振り返り	1. ① 講義 ② ナラティブシート提出 ③ ディスカッション ④ 振り返り	マネジメントリーダー評価表
	看護師長補佐	発展的に看護管理を実践できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護単位の運営方針を基に主体的に管理する</li> <li>② 看護サービスを評価・改善し、継続的に向上を図る</li> <li>③ スタッフ個々のキャリア発達を支援し、自律した看護師を育成する</li> </ul>			
	看護師長	社会・看護の動向を捉え看護管理を実践できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会・看護の動向を捉え、積極的に経営に参画する</li> <li>② 看護科全体の看護サービスの向上を図る</li> <li>③ スタッフ個々のキャリア発達を支援し、キャリア開発を推進する</li> </ul>			
看護補助者研修	看護補助者	看護職との協働について理解し、看護補助者として必要な知識と技術を習得する 看護補助者として自立し、役割モデルとなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 病院の機能と組織を理解する</li> <li>② 医療チーム及び看護チームの一員として看護補助業務を理解する</li> <li>③ 個人情報の保護、守秘義務について理解する</li> <li>④ 医療安全・感染防止の基礎知識を習得する</li> <li>⑤ 日常生活に関わる業務の知識・技術を習得する</li> </ul>	1. 総看護師長講話 2. 医療安全・感染対策 3. 接遇 4. 日常生活に関わる業務 ① 清潔援助 ② 食事介助・口腔ケア ③ 体位変換・移乗 5. 褥瘡予防	1. 講義 2～5. 演習	アンケート 振り返りシート 看護補助者ラダー評価
全体研修	看護科職員	看護職員に必要な専門的知識・技術を深める 自己のキャリア開発のため主体的に研修に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 総看護師長講話</li> <li>2. 認知症看護</li> <li>3. 慢性疾患看護</li> <li>4. 糖尿病看護</li> <li>5. 伝達講習(医療局・看護協会研修)</li> <li>6. 倫理</li> <li>7. 身体拘束</li> </ul>	1. 講義	アンケート	
例年、同地域施設での交流研修を企画しているが、今年度は、コロナウイルスの影響もあり、中止としています。						